

令和6年8月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

令和6年（2024年）8月26日（月）午前8時30分から午前10時15分まで

2 場 所

中央公民館 学習室5

3 議 題

（1）協議（審議・検討）

議案第39号 部活動地域移行の検討経過について

議案第40号 東部地区小学校給食センターの建設検討経過について

議案第41号 補正予算について

（2）重点取り組み

ア 不登校対応について

イ いじめの状況等について

ウ 学校ICT教育について

エ 幼保小の連携について

（3）報告

ア 教育課

（ア）中体連夏季大会等の結果について

（イ）令和5年度学校給食費の納入状況について

イ 地域づくり支援課

（ア）子ども講座の実施結果について

4 出席者

○教育長 山 口 千 春

○教育委員

教育長職務代理者 小 林 経 明

委員 五十嵐 英 美

委員 小林利佳

委員 富岡 志津子

○その他

深井教育次長、土屋教育課長、春原保育課長、

高野学校教育係長、小宮山学校施設係長、小林保育係長

長岡指導主事、畑田指導主事、岡澤指導主事、染野指導主事

塚田学校教育係主事、岩下適応専門支援員、山岸 ICT 教育推進講師

会議録

深井教育次長

ただいまから、8 月度定例教育委員会を始めます。それでは、教育長から開会宣告をお願いします。

山口教育長

それでは、8 月度定例教育委員会を始めます。

深井教育次長

続きまして、教育長あいさつをお願いします。

山口教育長

本日はお集まりいただきありがとうございます。

さて、今年は大変暑い夏・夏休みでした。小中学校では、先週から夏休みが明け、学校がスタートしました。今年度は全国中学校体育大会が長野県で実施されたため、中学校は例年より長い夏休みとなりました。

夏休みに入った 7 月 26 日（金）の午後、小中学校教員が東部中に集まり、この日を「研修の日」銘打って、職員研修を行いました。前半は教育委員会主催の教育講演会、後半は学校主催の ICT 教育研修会です。その際に嬉しかったことは、教育委員会主催の講演会と、学校職員会情報教育委員会主催という現場から立案された研修会が開催されたということです。校長会・教頭会も協力して行いました。また、長期休業の夏休みには学校独自の校内の職員研修も実施されます。小中学校のクラブ活動や部活動、中学校の文化祭に向けての生徒会活動だけでなく、夏休み中、先生たちは、自校の課題を解決するために、授業改善や児童生徒理解に生きる研修や職員同士の交流を深める研修等、講師もお呼びして、工夫された研修をしています。この他にも、専門性を高めるために、校外の研修に参加している先生方もいます。

私は、研修会の教育長挨拶で、次のようなメッセージを参加された先生方に伝えました。

「私は教育長就任以来、機会があるごとに、以下のことを繰り返し表明してきました。「課題はありますが、それぞれの担当者を中心に課題解決に向けて、アイデアを出し合いながら、『チーム東御市教育委員会』で、誠実に着実に取り組んでまいりたいと思います。『子どもたちの笑顔が輝く園・学校』『子ども達・先生方が明日も来なくなる園・学校』を目指して、先生方や保護者、地域の皆様と手を取り合って取り組んでいきたいと思います。」

これは、「チーム学校」でも同様だと考えます。順風満帆な時だけでなく、困難なことが起こった時こそ、一人で悩まず、校内で SOS を出せる雰囲気や常を醸成し、その SOS に応

えられる同僚性の高い教師集団・仲間集団であってほしいと強く思います。一人一人の先生児童生徒の声が、反映され、お互いに声を掛け合い、校長教頭までその声や情報が届くような、風通しの良い教育現場をさらに構築していきましょう。

また、目の前にいる子どもを常に真ん中に置いて、その子の自立に向け、チームで必要な情報をまず共有し、課題解決のために、「誰が、いつ、どんな支援や指導ができるのか」具体的な支援や指導の方向を、見出して、実践していったほしいと思います。そのチームの中に、私たち教育委員会や子どもサポートセンターも加えていただき、一緒に考えていきたいと思います。事案が起こったら、起こりそうだったら、早めに電話で一報を入れていただきたいと思います。」

8月の校長会でも、子どもへはSOSの出し方や発達段階に応じた自分や友達を大切にする学習、相談に乗ってくれる人がたくさんいること等について指示伝達しています。

「中学校でのSOSの出し方教育をはじめ、小学校でも発達段階に応じた自分や友達を大切にする学習を進めていただくようお願いします。困ったときには、学校内はもちろん、学校外の教育委員会、SC、SSW、保健師、心理士等でも相談に乗ってくれる人がたくさんいることを伝えていただくようによろしくお願いします。」

大人も子どもも、身体的精神的に追い詰められる前に、周囲の誰かに相談でき（SOSが出せ）たり、心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援したりして、温かい人間関係を構築し、園や学校を「みんな（子どもも大人も）が安心して遊べる・学べる」場所にしていくことで、園や学校関係者それぞれの信頼関係が深まり、学校力や園の力が向上していくのだと思います。

なお、教育委員の皆様には8月15日に開催しました平和祈念式と二十歳を祝う会へご参加いただきありがとうございました。

さて、本日は、教育委員会の後、総合教育会議も行われます。よろしくお願いいたします。

（１）協議（審議・検討）

山口教育長

議案第39号部活動の地域移行の検討経過について、説明を求めます。

高野学校教育係長

説明します。生徒数の減少や教員の働き方改革を背景に、部活動を学校から地域へ移行していくことで検討しています。国は令和5年度～令和7年度を「改革推進期間」と定め、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す」という方針を発表しています。県も令和8年度末を目途に休日の部活動の移行を目指すとする方針を発表しています。

市においても、今年度から東御市部活動地域移行検討会を立ちあげ、既に2回開催しています。生徒が将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会

の確保と中学校教員の負担軽減を目指し、検討しています。今年度は地域移行を円滑に進めていくため、行政や学校、保護者、地域クラブ等と連絡調整等を担う統括コーディネーターの配置とモデルケースの試行実施に取り組みます。モデルケースについては、水泳を対象として検討していますが、課題を見出し、他の部活への波及効果を目指していきます。

今後も国や県と並行する形で進めていきます。令和7年度には休日の段階的な移行と平日の移行に向けた検討を実施、令和8年度は休日の完全移行と平日の段階的な移行、令和9年度に平日の完全移行を考えています。予算につきましては、9月補正での計上を予定しています。

山口職務代理

部活動の地域移行については、小林職務代理にも大きく関わっていただいています。ご意見等ありますでしょうか。

小林委員

現時点で、地域移行に向けて実際に進んでいる部活動はありますか。

小林職務代理

現時点では、中学校自体は全く進んでいません。教育委員会の中で方法等を検討している状況です。

富岡委員

今、教員をやっている方たちの現場の声を聞いてほしいです。教員の中には、本人が部活動を通して良い経験ができた、教員や仲間と巡り会えたりしたということがきっかけで教員をやっている方もいるかと思われます。もう一度現場の声を聞いたうえで進めてほしいです。

土屋教育課長

部活動を地域移行した後の、教員の部活動との関わり方についてです。地域で受け入れができる部活は地域移行をすることが可能ですが、そういった地域が受け皿になりえない部活動があるかと思います。そういったものについては、現在指導いただいている先生に兼職兼業として指導していただく形になるかと思われます。先生方に地域移行後も活動に参加してもらうような機会をもつことは可能です。ただし、現在は校長の指導体制のもとで行っていますが、地域移行後は地域側の指導体制のもとで行うことになりますので、その点については考え方が異なってくるかと思います。先生方が指導を行うということについては、統括コーディネーターを中心に整理していきたいと考えています。

富岡委員

教員の力が活用されずにいることはもったいないので、ぜひ柔軟に検討して欲しいです。

山口教育長

検討会の構成員の中には校長だけでなく、部活動顧問にも参加してもらっています。検討会の内容については、校長から各学校へ情報共有をしています。

また、兼職兼業については、市町村教育委員会が認める者が対象になります。届け出がされた場合には市町村教育委員会が判断していくこととなります。

五十嵐委員

統括コーディネーターの配置について、可能な限り早くに配置していただきたいです。指導者を希望する者が、問い合わせを行う1つの窓口になるかと思います。指導者を希望される方からは、学校を基本に休日部活動の会場として使いたいという話もありました。そのため、早くに配置をして広く意見を取り入れられるようにしていただきたいです。

山口教育長

この内容について、他にご意見等ありますでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、この方向性で引き続きよろしくお願いします。

議案第40号東部地区小学校給食センターの建設検討経過について、説明を求めます。

小宮山学校教育係長

説明します。

今月6日に第2回東部地区小学校給食センター建設検討委員会を開催しました。今回の建設検討委員会では、米飯炊飯についてと、現在検討を進めている基本設計について、委員の方からのご意見をお聞きしました。

まず米飯炊飯についてですが、全国と長野県内の現状、自場炊飯と委託炊飯の経費や管理、リスク分散等多面からの比較し、両者を検討しました。そのうえで、東部地区小学校給食センターでは、自場炊飯により米飯の提供を行うことを提案させていただきました。委員の皆様からは賛成のご意見をいただきました。また、自場炊飯をした場合、地元の米を使用できるのかといったご質問や、自場炊飯により混ぜご飯等の種類が豊富になる点が

良いといったご意見がありました。信州うえだ農協さんからは地元食材の地産地消に協力していきたいというご意見もありました。これを受けまして、自場での米飯炊飯を行っていきたいと考えています。

次に、基本設計についてであります。これまで、栄養教諭や実際に調理をする給食調理員と10回にわたり検討をしてきました。また、先進地の給食センターの視察も行い、基本設計に意見を反映させていただいています。また、あらかじめ配送計画を検討し、各小学校の配送に間に合うように施設整備の検討を行っています。

土地利用計画のポイントとしては、周辺環境に配慮した土地利用計画、メンテナンス性に配慮した建物・外構計画、安全性と機能性を重視した敷地内導線の3つがあります。建物を敷地中央に配置することにより、隣地境界との離隔距離をとり、日陰等を排除しています。また、室外機等は屋上に集約配置をしてメンテナンス性の向上、敷地の有効活用をしています。さらに、明確な歩車分離、配送車両の旋回スペースの確保等、安全性を考慮しています。平面計画のポイントとしては、高い衛生水準を確保した配置計画、効率的で質の高い施設・設備、食の学び場と情報発信の充実の3つがポイントとなっています。作業ごとにエリアを分け、調理が一方方向に進んでいくよう、作業導線が逆戻りをしないような造りです。また、アレルギー対応室や調理室を見学するためのスペースや授業等でも使用できる会議室も設けています。これらの内容について委員からは、アレルギー対応の方法や火災発生時の避難経路、施設の清掃方法や調理熱源、建設費用等についてご質問をいただきましたが、設計内容に大きな修正が生じるようなご意見はありませんでした。事務局としましては、基本設計をおおむね10月末までに完成させ、その後実施設計に進んでいきたいと考えています。

この建設検討委員会の結果を踏まえて、本日は2点お諮りしたいと思います。1点目として、東部地区小学校給食センターでは米飯炊飯の設備を導入し、自場で米飯炊飯を行うという方針です。2点目として、現在の基本設計を概ね10月末までに完了をし、その後実施設計に進んでいくということです。なお、このスケジュールに沿って進めていった場合、令和9年の可能な限り早い時期に施設の開所を目指して進めていきたいと考えています。

山口教育長

今の説明について、ご意見等ありますでしょうか。

小林職務代理

作業する人自身のクリーニングエリアについてはいかがでしょう。基本設計にはないように見えます。

小宮山学校施設係長

作業する人は汚染作業区域から非汚染作業区域に行く際には必ず前室を通るようになります。

ます。この前室には、白衣やエプロン、靴等の殺菌保管機や取るミング等を設置して対応します。

小林職務代理

エアカーテンや紫外線等を含めてそういった対応ができる場所はどこになりますでしょうか。

小宮山学校施設係長

事前に調理員とも検討しましたが、エアカーテンは設置せず取るミングによって対応したいと考えています。北御牧学校給食センターにエアカーテンが設置されていますが、大人数になると効率が悪いという点がありますのでその点を考慮したうえで今回は取るミングの設置を検討しています。

小林職務代理

長年稼働していると油漏れといったことがあるかと思います。ランニング面からみて、配管の中の清掃等の対応はできていますでしょうか。

小宮山学校施設係長

現段階で廃棄設計や空調関係まで詳細に検討ができていませんが、そういった面も十分に考慮して検討していきます。今後の実施設計において、さらに詳細に検討していくかと思いますので参考にさせていただきます。

小林職務代理

油漏れ等は配管が長いために発生する事案であるかと思います。そういったことも経験している設計士が担当しているのでしょうか。

深井教育次長

今回の基本設計については、過去5年以内に1,500食以上の給食センターの設計実績があった者という条件をかけ、ある程度経験のある業者に依頼しています。食器や器具類については、別業者に助言をもらいながら検討しています。

富岡委員

保護者の中にはまだ不安に思っている方がいらっしゃるかと思いますので、これからも丁寧な対応をお願いします。

小宮山学校施設係長

これまでの保護者説明会等においても、保護者の皆様から申し出等がありましたら、個別にご説明にうかがう旨のお話をさせていただいておりますので、今後も丁寧に対応してまいります。

山口教育長

それでは、自場での米飯炊飯を行うこと、基本設計完了後、実施設計を進めていくことについてご意見等ありますでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、承認ということをお願いします。

続きまして、議案第 41 号補正予算について、説明を求めます。

土屋教育課長

説明します。今回の内容については、9 月定例会の補正予算として上程するものになります。

教育費において、全体として 143 万 7 千円の減額補正です。総務課では、教育長の給与費 90 万 3 千円と一般職員給与費が△1,990 万 7 千円ですが、この減額補正は社会教育分野の職員分の科目付け替えであります。文化・スポーツ振興課で、伝統的建造物群と埋蔵文化財に係るもので増額補正となります。教育課では先ほどご説明しました部活動地域移行事業費として 138 万 7 千円、滋野教職員住宅解体工事費として 1,232 万円、中学校修繕工事費として 210 万円の増額補正を行います。なお、中学校修繕工事費の内容は北御牧中学校のバスケットボールのゴールの修繕です。また、部活動地域移行事業費については、県の補助金 138 万 6 千円を歳入として充当します。

民生費においては、来年の 4 月に開館を目指しています滋野児童館の備品費として 200 万円を計上しています。財源としましては、滋野財産区からの寄附となっています。

保育課では滋野保育園の門扉設置工事費として 192 万円を計上しています。

また、先ほどの給食センターの議案にありましてとおり、中日上程で給食センターの実施設計費用として 63,158 千円と、建設検討委員会を年度内に計 6 回開催するための謝礼 27 千円の計上を予定しています。

春原保育課長

同じく中日上程で和保育園のテラスの屋根の改修工事を予定しています。現在の屋根の形状により最近の大雨等を雨どいで受けきれず漏れ出している状況ですので緊急対応とし

て 980 万円の計上を予定しています。

山口教育課長

この内容について、ご意見等ありますでしょうか。

小林職務代理

雨どいの状況について、他の保育園はいかがでしょうか。

小林保育係長

和保育園の屋根は、テラス側が園舎側に傾いており、雨を内側で受けるような形になっています。最近はその内側だけでは受け止めきれないほどの大雨が降るという状況です。したがって、屋根の形状自体を変えるという工事になります。なお、この形状は和保育園のみですので、他の保育園では実施はしません。

山口教育長

この内容について、いかがでしょうか。

全委員

異議なし。

山口教育長

それでは、事務局案ということをお願いします。

続きまして、(2) 重点取組みに移ります。ア 不登校対応について、説明を求めます。

長岡指導主事

ア 不登校対応について、説明します。(個人が特定される情報は非公開)

小学校で少し増加傾向が見られます。継続的に支援を行っていますが、全欠に近い状況ではなく、不登校とされる基準である 30 日を超えてきたという状況であります。欠席が多くなっている児童は相談室等を利用している子どももいて、昨年度の状況から改善傾向にある児童もいます。

中学校では全欠に近い生徒もいますが、どの生徒ともつながりが切れないように対応しています。子どもサポートセンターでも、保護者の不安定さを解消できるように働きかけていただいています。対応について、教育委員会も一緒になって考えていますが、今後も引き続き対応が求められます。

夏休みが明けて学校が始まります。これから 1 週間は、特に子どもたちの様子を丁寧に見ていくことが必要かと思えます。このことは校長会においても依頼していく予定です。

山口教育長

この内容について、ご意見等ありますでしょうか。

深井教育次長

不登校の児童生徒には該当しないが、それに準ずる程度に欠席している児童生徒についてはいかかでしょうか。

長岡指導主事

不登校に該当する基準は欠席日数が30日ということですが、それに関わらず、欠席が多くなったところで家庭への連絡や訪問、子どもサポートセンターへの連絡、対応依頼等を行っています。これらについては、日数には関係なく行っています。今年は欠席日数が少なくても昨年は多かった児童生徒については、これまでの経過を踏まえて継続して見守りを行っています。基準である30日を超えないことは1つの目安ではありますが、欠席の傾向があればすぐ保護者を中心に対応しています。

山口教育長

続きまして、いじめの状況について、説明を求めます。

岡澤指導主事

説明します。(個人が特定される情報は非公開)

報告があった内容は、やはり言葉に関わる内容です。その中で、特別支援学級やその児童生徒に関わるものがありました。いじめという面だけでなく、その学級に対する捉え方や教員たちの受け止め方について学校で学んでいく必要があるかと思います。障がいのある児童生徒について、個々の対応だけでなく、学級の中で対応を考えていく必要があるかと思います。

中学校の方では、一対一でなく、特定の子どもに対して集団でいじめをするというような事例がありました。これはいじめの典型的なものです。これらについても、生徒自身に考えさせていかなければならないと思います。

山口教育長

この内容について、いかがでしょうか。

小林職務代理

今回報告のあった事例の一部については大きな問題であると思います。根本的な部分に問題があると思います。

小林委員

止める人が誰もいないというクラスの雰囲気がまずありえないことですし、その担任もそれを許してきたのかと思ってしまいます。4月当初から話がありましたが、教頭先生も授業に入ってくださいるようになったようです。

小林職務代理

この学年になるまで、そういった子どもを育ててきたのかと思われてしまいます。

岡澤指導主事

そのとおりであると思います。個々で問題のあった事象について注意をしたとしても、クラス全体で対応していかないといけないと思います。

土屋教育課長

このクラスについては、夏休みに入る段階で学級 PTA を開催し、担任と校長から現在の状況と今後の対応について説明をしてもらいました。2学期からの学級運営について見直していこうという動きをしています。

小林職務代理

この内容について、このクラスの問題なのか、1年～5年までに適切な教育がされてきていないという学校全体の問題なのでしょうか。

畑田指導主事

今回の事例の加害者は転校生であり、特性があるような児童です。好き勝手の言動をしてしまう状況で、保護者の方も児童寄りの状況になってしまうようです。

先日の学級 PTA の中では「良いところもいっぱいある」といった意見も出てきています。そういった面を伸ばしていこうという建設的な会議であったと報告を受けています。今後も状況を見ていきたいと思います。

山口教育長

引き続きよろしくお願いします。

続きまして、ウ 学校 ICT 教育について、説明を求めます。

山岸 ICT 教育推進講師

ウ 学校 ICT 教育について、説明します。小学校理科専科と小学校1学年部会で iPad 使用について、教員向けに授業につながるような研修会を開催しました。各学校の対応につ

いては、iPad 保管庫のストッパー設置や職員用 PC の不具合への対応の他、夏休み時の iPad 持ち帰りに関する指導内容への相談対応やロイロノート使用方法の説明等を対応しました。学校の方から支援をしてもらえないかという話があれば、積極的に対応させていただきますが、なかなかそのような声が届いてこない状況です。私自身が午前中の中のみの勤務で、先生方が授業に行っていると直接会うことができないのが現状です。現在、北御牧小学校の 2 年生で来校には必ず授業をしてほしいという要望があり、iPad 等について 1 学期後半頃から授業に取り組んでいます。

小林職務代理

山岸先生は授業の支援として勤務していただいているかと思います。授業以外の支援が先生のところへ来ている状況が問題であるかと思います。教員が「ICT の授業について、こんな授業をしたいから先生に支援をしてほしい」ということが推進されていかないと、本来の先生の価値が出てこないと感じています。

山口教育長

山岸先生にスキルがありますから、ぜひその点をお願いしたいと思います。
続きまして、エ 幼保小の連携について、説明を求めます。

春原保育課長

説明します。小学校と保育園の 7 月 8 月の交流について報告します。7 月には公立 5 保育園では夏祭りが行われ、その機会に小学校との交流を実施しました。交流会後には学校から保育園へお礼の手紙が届いたり、年長児が 1 年生に聞いてみたいことの手紙を渡し回答が学校から届いたり等、また一段と交流が深まったようです。その他には、小学校のプールを使ってプール交流が行われたところもありました。

職員においては、小学校の夏休み期間を使って保育園見学や職員研修を実施しました。学校の先生が保育園に来園して保育園の生活環境や子どもたちの様子を見学、また、実際に子どもたちと交流をしたり、交流後には話し合いの場を設けたり等、それぞれの学区ごとで進めていることを実感しました。

畑田指導主事

第 2 回幼保小接続委員会について報告します。日程は 10 月～11 月の任意の時間です。小学校区ごとに実施し、内容をさらに充実して欲しいというねらいがあります。校長会を通じて学校側にも伝えていきたいと考えています。教育委員会が主導ではなく、自発的に活動していくようになっていければと思います。

山口教育長

コロナ前に活動していた時の様子に近づいているように感じます。
この内容について、いかがでしょうか。

小林職務代理

連絡協議会は上田市内の幼稚園等も参加しているのでしょうか。

春原保育課長

参加していません。参加園は、東御市内で、くるみ幼稚園、海野保育園、おひさまこども園ねつと公立5保育園です。

山口教育長

続きまして、(3) 報告に移ります。教育課から順次報告をお願いします。

畑田指導主事

(7) 中体連夏季大会等の結果について、報告します。

まず、陸上競技です。倉島葵斗さんは男子 100M で全国大会に出場しましたが、予選敗退となりました。昆幸成さんは男子共通走高跳で北信越大会で第 5 位の結果となりました。また、全日本中学校通信陸上競技の全国大会で第 11 位という結果でした。新井瑠心さんは柔道で北信越大会にて第 1 位、全国大会第 3 位です。井出結菜さんは全国大会に出場しましたが、1 回戦敗退となりました。バドミントンの佐藤俊弥さんは北信越大会で 1 回戦敗退となりました。

小宮山学校施設係長

(4) 令和 5 年度学校給食費の納入状況について、説明します。令和 5 年度におきまして、東部中学校で未納者が 1 名おりました。現在、学校から保護者の方へ連絡をしており、少しずつ納入が進んでいる状況です。夏休み明け後も引き続き対応していきます。また、児童手当からの給食費徴収についても、保護者からの申し出がありましたら対応している状況です。

山口教育長

続きまして、イ 地域づくり支援課の報告をお願いします。

柳橋地域づくり支援課長

(7) 子ども講座の実施結果について、説明します。各小学校で子ども講座を実施したところ、児童 84 名、保護者 47 名、合計 131 名の参加がありました。昨年の参加者 111 名を上回る結果となり、内容的にも参加者には大変好評でした。公民館長が様子を見学に行きま

したが、子どもたちが自主的に取り組む姿を見て大変好評だったとのこと。保護者の方も参加され、親子で協力して制作に取り組む様子が見られました。夏休み中のプール開放がなくなり、特に平日の過ごし方に課題を感じている方もいらっしゃいます。普段できない体験活動を経験することができる一助になればと考えています。来年度につきましても検討していきますのでご協力をお願いします。

なお、この取り組みは4年目となり、公民館の夏季事業の1つとして定着してきました。先日、県生涯学習推進センター主催の講座に取り上げていただき発表も行いました。この内容は県下でもほとんど事例のない取り組みとして高い評価をもらいました。今後全県の公民館関係者が集まる場所での発表依頼も受けたところであります。子ども講座の更なるブラッシュアップを行ってまいります。

山口教育長

2年目となった英語講座には7名の参加がありました。昨年度参加がなかった小学校からの参加や、中学生の参加もありました。今後もさらに計画を練っていきたいところであります。

それでは、8月度定例教育委員会を閉会します。